

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【公開番号】特開2016-32111(P2016-32111A)

【公開日】平成28年3月7日(2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-014

【出願番号】特願2015-146130(P2015-146130)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

C 0 7 D 403/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/14 B

C 0 9 K 11/06 6 6 0

C 0 7 F 15/00 C S P E

C 0 7 D 403/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月9日(2018.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

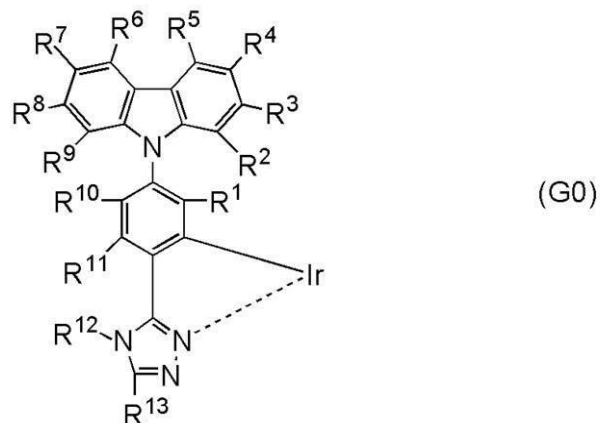
【請求項 1】

1, 2, 4 - トリアゾール骨格を有する有機金属錯体を有する発光素子であって、
前記 1, 2, 4 - トリアゾール骨格の 3 位に、フェニレン基を介して N - カルバゾリル基を有し、
前記 1, 2, 4 - トリアゾール骨格の 4 位にフェニル基を有し、
前記 1, 2, 4 - トリアゾール骨格の 2 位はイリジウムに配位し、
前記フェニレン基は前記イリジウムと結合している発光素子。

【請求項 2】

式 (G0) で表される構造を含む有機金属錯体。

【化 1】

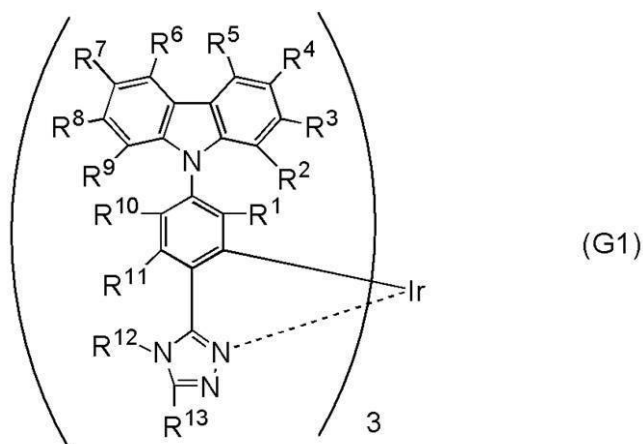


(式中、 R^1 乃至 R^{13} はそれぞれ独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、炭素数 5 乃至 7 のシクロアルキル基又は炭素数 6 乃至 12 のアリール基のいずれかを表す。前記シクロアルキル基及び前記アリール基は置換基を有していてもよい。)

【請求項 3】

式 (G1) で表される有機金属錯体。

【化 2】

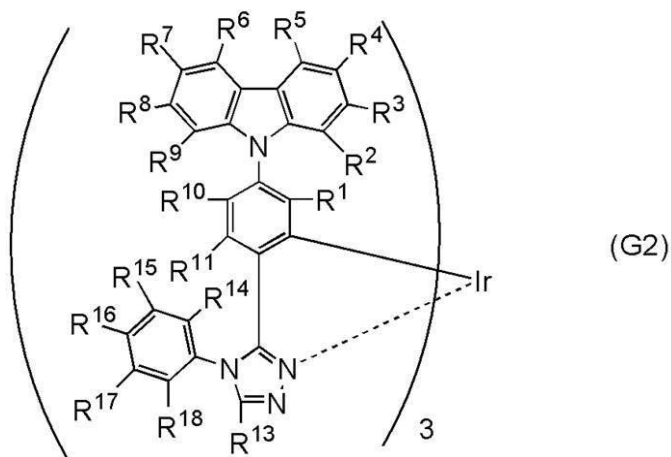


(式中、 R^1 乃至 R^{13} はそれぞれ独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、炭素数 5 乃至 7 のシクロアルキル基又は炭素数 6 乃至 12 のアリール基のいずれかを表す。前記シクロアルキル基及び前記アリール基は置換基を有していてもよい。)

【請求項 4】

式 (G2) で表される有機金属錯体。

【化 3】

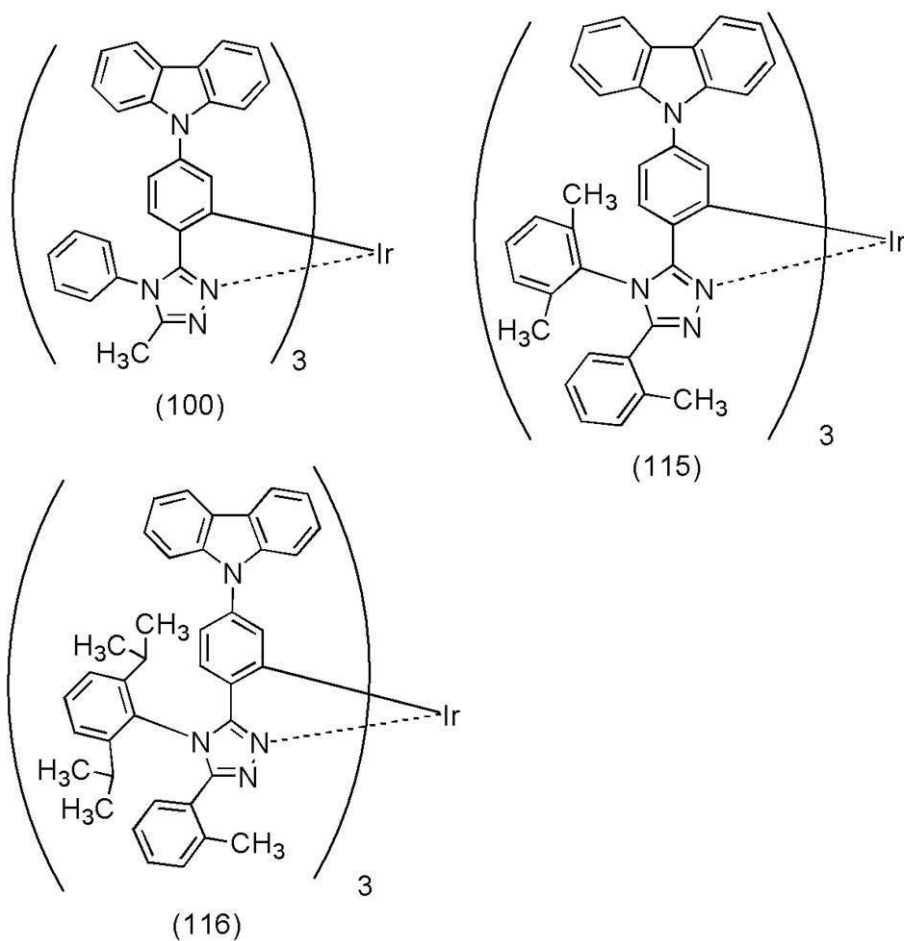


(式中、 R^1 乃至 R^{11} 、及び R^{13} 乃至 R^{18} はそれぞれ独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、炭素数 5 乃至 7 のシクロアルキル基又は炭素数 6 乃至 12 のアリール基のいずれかを表す。前記シクロアルキル基及び前記アリール基は置換基を有していてもよい。)

【請求項 5】

式 (100)、(115) または (116) で表される有機金属錯体。

【化 4】



【請求項 6】

請求項 2 乃至 5 のいずれか 一 に記載の有機金属錯体を用いた発光素子。

【請求項 7】

請求項 1 または 6 に記載の発光素子と、トランジスタ、または、基板と、を有する発光装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の発光装置と、センサ、操作ボタン、スピーカ、または、マイクと、を有する電子機器。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の発光装置と、筐体と、を有する照明装置。